日本共産党
流山深井後援会

ニュースあすなろ

15年2月15日
第192号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154−0526
（部内資料）

流山から県議を、市議で4名当選を！

矢田春代さん 植田和子さん 事務所開きで決意新たに

平和守る母親パワー全開

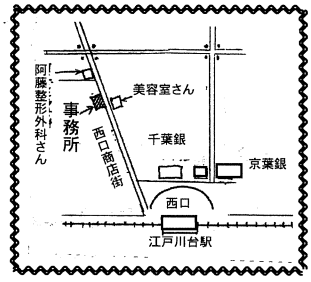
2月8日（日）に流山市内で、県議予定候補者の矢田春代さんと4人の市議会議員の事務所びらきが午前、午後にかけて次々に行われました。

江戸川台西口商店街に2月1日から開設した「矢田春代・植田和子事務所」の事務所開きには、午後2時30分から小雨が降るなか大勢の方が参加しました。

最初に日本共産党北部地域後援会会長の小倉卓郎さんがあいさつ。地域の住民の方からの激励のことばの後、昨年末の総選挙で当選した斉藤和子衆議院議員からのメッセージが紹介されました。

続いて矢田春代さんと植田和子さんが決意表明。それぞれ最初に、「イスラム国」による野蛮なテロ行為に日本共産党は厳しく抗議します、とのべました。

事務所前で決意表明する矢田春代さんと植田和子市議



事務所地図（左）と事務所前

若者に夢と希望を　矢田　春代
千葉県議選予定候補

矢田春代さんは、「放射能汚染から子どもを守る運動や障害をもつ子どものための特別支援学級設置の運動で、日本共産党の社会を変える道への確信をつよめました。第一に、戦争する国づくりに反対し、平和を守るために命がけでがんばります。第二に、全国第四位の財政力をいかして、みなさんのくらしを守る県政への転換をめざします。第三に、若者が未来に夢と希望がもてるように、返済しなくてもよい奨学金制度をつくります」と訴えました。

市民の暮らし守る！　植田　和子 市議

植田和子さんは、「命をかけて侵略戦争に反対してきた日本でただ一つの政党、日本共産党の一員としてみなさんとご一緒に、平和を守るために頑張りぬきます。先日、中小企業で働く人から、アベノミクスで景気が良くなったとは思わない、という意見や業者の方からは、消費税増税はもう、ごめんだ。本当に苦しい、という声を聞きました。だからこそ、市民のくらしを守る防波堤の役割を発揮する流山市にすることがますます重要です」と訴えました。

原発から撤退　ただ今原発ゼロ!!

安倍暴走に地域から審判を

県議選は4月3日告示、4月12日投票。市議選は4月19日告示、4月26日投票で行われます。

流山から日本共産党の県議予定候補が出るのは16年ぶりです。現在の千葉県議会は、定数95名中自民党が51議席を占めています。その自民党議員全員が安倍首相ともつながる「日本会議」のメンバーです。流山選出の自民党議員もです。そのような中で日本共産党が県議会で大きく躍進することが必要です。

日本共産党は一時、6議席ありましたが、現在は3議席。今度の選挙で8つあるすべての常任委員会に委員を出せる8名の県議団にすることが目標です。

流山から初めての県会議員、矢田春代さんの誕生と市議会議員、植田和子さんの2期目の当選にみなさんの大きなご支援をお願いいたします。

流山北部選対長　保坂茂夫

こんにちは　植田和子です

2月9日　1月は、商工会議所の賀詞交歓会、東葛労連の旗びらきに、土建の旗びらき、成人式の式典、新春のつどい、新婦人の新年会などなど、年明けならではの行事であっという間に1月が終わってしまいました。

また、事務所びらきには、あの雨の中を、沢山のみなさんが駆けつけてくださり、本当にありがとうございました。

今日は、3月議会の議案説明会と全員協議会がありました。国から降りてくる議案が本当に多くて、（私担当の教育福祉委員会では、介護保険とか、子ども子育て支援新制度関連です）まさしく下請け行政です。

今回、あれ？と思った議案が、重度障害者の窓口医療費負担の現物給付導入についてです。通院1回、または入院1日当たり、300円の負担をする？？　今まで、障害者の方々は、窓口で医療費を立て替えした後、申請して、全額医療費は返ってきてました。これからは毎回、窓口で300円の支払いをしますが、それは返ってきません。そして、65歳過ぎてから重度障害になった人は、医療費助成もない、健常者と同じ3割負担です。

教育福祉委員会の議案は、今回10本ですが、介護保険料も、約8・5%値上げの議案。母子家庭への育成手当も、支給対象者に制限を加えてきた議案など。1期目最後の議会頑張ります。

ヘッドライト

「イスラム国」を名乗る残虐な集団によって日本人二人が殺害された。後藤さんなどはイスラムの人たちとも助け合うことを願って奮闘していたようだ。それを見境もなく斬首して公開するなど人として許されない行為だ▼ところがこれをあたかも待っていたかのように自衛隊の海外派兵や憲法改定を声高に主張する人たちがいる。そして九条があるから助けられなかったのだなどとこじつけるものさえいる。あまりの単純さに、呆れてばかりもいられない▼こうした強硬論が威勢よくまかり通るようになって、冷静な分析や対応を「弱腰だ」などと非難して黙らせるようになったとき、民主主義の原理は働かなくなり、脅迫や暴力が支配する。政府の対応の検証を求めた小池議員の質問への安倍総理の開き直りは、まさにその兆しを感じて恐ろしい▼いま大切なことはこのような残虐な集団を生み出した原因を明確にすることであり、若者を引き寄せて憎しみの連鎖の中に巻き込もうとするたくらみを絶つことではないだろうか。九条を持つ日本の役割は、その連鎖の一方に加担するために武力を行使することではない。